2021 年度年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日 ： 2022年4月14日
● 事　業　名 ：「孤独を生み出さないための居場所作りの整備～コミュニティシネマの活用～」
● 資金分配団体 ： 一般財団法人中部圏地域創造ファンド
● 実 行 団 体 ： 特定非営利活動法人アイダオ
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無 ： ☑有 □無

① 実績値 （実績値の対象は、基本は 2021 年9月～2022 年3月末。中間報告時に 9 月を入れている場合は 10 月からでも結構です）

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況（実施した活動内容も5W1H や、参加人数等もわかるように書いてください＝別紙一覧でも可）	進捗状況＊
1、連携協議会が設立され、関係団体が地域の課題を把握し、課題解決に向けた取り組みを行う。	1-1、開催回数 1-2、出席者数、出席団体数 1-3 連携協議会で意見交換した団体数	1-1、１２回 1-2、６名、６団体 1-3、１０団体	2022 年３月	●アイダオ、侍学園、上田映劇の３団体の担当者が集まる連携協議会については、毎月定例会議を開催している。関わる子どもたちの進捗や各事業の報告等を行いながら、2021 年度の後半からは、こどもたちの個別ケース会議を行うことで、協議会で対象の子どもたちの状況を把握していく仕組みを作った。 ●拡大連携協議会としては、犀の角（小劇場）や NPO 法人場作りネット、NPO 法人リベルテ等で構成される「のきした」の取り組みや会議の場を通じて、この地域全体で生きづらさを抱える子ども・若者や大人たちの課題を共有。また支援の枠を超えた、つながり合いの仕組みを構築することで、映画館だけでない場所が子ども・若者の居場所となっていく。そうした関係性を築いていくため、会議の場以外にも頻繁に情報交換や協議を重ねてきている。 ●今期は、公開シンポジウムの開催があったため、その事前打ち合わせも含め、拡大連携協議会を開催した。	3 計画より遅れている、

				開　催：連携協議会　合計 6 回 　　拡大連携協議会　合計 4 回 団体数：連携協議会　　３団体 　　拡大連携協議会　11 団体	
2-1、関係者、専門家、当事者が一同に介した公開シンポジウムを通じて、子ども若者に関わる問題への関心・認知が高まり、支援が必要な当事者やその家族の新規開拓につながる。	2-1-1、参加者数 2-1-2、参加者からの評価シート（アンケートで理解が深まった旨の回答率）	2-1-1、100 名 2-1-2　60%	2022 年 2 月 13 日（土）	●2022 年 2 月 13 日に公開シンポジウム「映画館は未来をつくる学びの場」を開催。新型コロナウイルスの感染状況の影響により、上田映劇の会場以外にも急遽オンライン配信も行ったため、海外からも含め 100 名を超える多くの方に参加していただくことができた。①当事者の声を聞く、②映画関係者の声を聞く、③教育と芸術文化の専門家の話を聞くという 3 部構成で行う。特に、当事者である子どもたち（中学生２名、大学生１名）が自分たちの言葉で発した言葉がインパクトがあったことがアンケートから伺えた。 ＊添付資料：アンケート	2 計画どおり進んでいる
2-2、関係者、専門家、当事者が一同に介した公開シンポジウムを通じて、地域資源を活用した支援の取り組みが、地域社会に周知される。	2-2-1、参加者数 2-2-2、参加者からの評価シート（アンケートで理解が深まった旨の回答率）	2-2-1、100 名 2-2-2　80%	2022 年 2 月 13 日（土）	●公開シンポジウム「映画館は未来をつくる学びの場」では、教育の専門家である早坂淳氏、芸術文化の専門家である野村氏をゲストに招き、それぞれの視点から映画館（地域資源）を活用した居場所の意義について、話をしていただく。海外の事例や、教育、文化芸術の本質的な役割の視点からみても、多様な地域でそれらを育む仕組みを作ることの意義が確認でき、アンケートからも参加者に伝わったことが伺えた。 ＊添付資料：アンケート	2 計画どおり進んでいる

3、行政、教育委員会等、地域資源である関係団体と連携協議会との協力体制が強化され、包括的な支援体制がつくられる。	3-1、協力団体数	3-1、10 団体	2022 年 3 月	●長野県教育委員会東信教育事務所、上田市教育委員会、東御市教育委員会、佐久市教育委員会、佐久市教育相談室（メンバルアドバイザー）、長岡由貴さん（野澤館女将・「不登校は不幸じゃない」イベント主催）、小諸市教育委員会、小諸市教育支援センター、軽井沢町教育委員会、御代田町教育委員会、長和町教育委員会を通じて、**東信エリアの小中学校 合計 84 校**にシネマクラブ開催の情報を毎月届けている。そこから、個別に関心をもってくれる教師や支援者とつながる。 ●また**長野県動物愛護センターハローアニマルのこどもサポート**の担当者、個別の**スクールソーシャルワーカー**とは随時情報交換を行う。 ●また、引き続き、**信州かんもく相談室（上田）、ほっちのロッジ（軽井沢）、おけまる食堂（上田）、信州子どもカフェ、信州大学教育学部付属特支援学校**の関係者とつながりながら、情報交換を続けている。 ●**東信子ども若者サポートネット、やどかり（NPO 法人場作りネット/犀の角/NPO 法人リベルテ/高齢者施設 sora）**等、民間 NPO との連携により、①映画館以外の居場所の開拓、② 包括的に対象となる子どもたちの居場所を増やしつつ、情報共有を続けている。 ●上田市青少年センター（上田市教育委員会）の視察受け入れ、長野県東信教育事務所 主催の「東信地区人権教育研修会」での事例報告、可児市文化創造センターala 主催の「劇場に関わる人のためのアーツマーケティングゼミあーとま塾 2021」での事例報告等、教育委員会だけでなく、劇場や行政とのつながりを積極的に構築していく。	2 計画どおり進んでいる

4、アイダオが中間支援NPOとして、子ども若者支援に多様なNPOが連携できることにつながる新たな政策を提言する。	**4-1、政策提言書** **4-2　政策提言に含まれる協働・連携例数**	4-1　有 4-2　5	2022年3月	●「うえだこどもシネマクラブ」に興味を持ってくれている市会議員との情報共有を随時行うが、今期は積極的に政策提言につながる動きがとれなかった。	**2 計画どおり進んでいる**
5、専門家による知見を反映して本事業がより効果の高い支援内容になる。	**5-1、ヒアリング・事例研究数** **5-2　専門家の知見を事業に反映した数** **5-3　社会的投資収益率**	5-1　5件 5-2　3事業 5-3　70%	2022年3月	●公開シンポジウムの企画を通じて、**長野県文化芸術振興コーディネーターの野村政之氏、長野大学社会福祉学部教授の早坂淳氏に専門家としてのコメントをいくつかいただく。**	**3 計画より遅れている**

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

②事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
1、長野県東信地域において、孤立しがちな子ども若者を含める潜在的な課題が把握しやすい地域社会になる。 ▶ 連携協議会、拡大連携協議会の場が子どもたちのセーフティネットになりつつある。 2-1、要支援者やその保護者が相談できる窓口やつながりが増え、孤立しない地域社会になっている。 2-2、課題解決のため地域資源がコミュニティシネマ以外の場にも波及している。 ▶ 映画館や小劇場、個々の商店やNPOが連携していくことにより、窓口の多様化、居場所の多様化に繋がっている。 3、長野県東信地域において、子ども若者が抱える課題への地域社会の理解が進み、協力者が増える。 ▶ 多様なメディアで紹介していただいたり、シンポジウムの開催などにより、一般により周知されていく。 4、子ども若者の包括的な支援体制がつくられ、行政施策にも反映されるようになる。 ▶ 映画館だけでなく、小劇場やさまざまなNPOの活動実績を評価を通じて意味づけしていく。

5、地域資源がオルタナティブな学びの場として活用される地域になり、本事業が上田モデルとして確立していく。 ▶ シンポジウムの開催により、専門家の知見からも地域資源がオルタナティブな学びになりうるということを確認していく。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
劇場のガイドラインを徹底していく__新型コロナウイルス感染予防対策の取り組みとお客様へのお願い

③広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 【新聞】 ●「不登校児らに安らぎの場　復活した上田映劇」2021年7月2日__中日新聞 ●「『映画館を居場所に』可能性広げるには」2022 年 2 月 11 日__信濃毎日新聞 【WEB】 ● mamalog_学校に行きづらい日は映画館へ 《うえだ子どもシネマクラブ》という居場所 https://mama.hanalab.co/12177 ●長野県魅力発信ブログ「じょうしょう気流」2021年9月6日 「行ってきました、子どもの居場所！その１うえだこどもシネマクラブ！」 https://blog.nagano-ken.jp/josho/info/town/63023.html 【雑誌、冊子】 ●『長野の子ども白書2021』子どもと共につくる地域 事例11 「学校に行きづらい日は映画館においでよ！」 ●KAY NEWSLETTER 「うえだ子どもシネマクラブ だれもが安心できる居場所がある。」　令和４年１月１５日発行 ★「のきした」の活動の一連で紹介されたもの ● 雑誌『地域創造』第47号 レジデンス再考／well-being（よりよく生きる）（2021年12月発行） https://www.jafra.or.jp/library/magazine/backnumber/8082.html ●ソトコト（2022年3月号）特集 ｜ まちをワクワクさせるローカルプロジェクト https://sotokoto-online.jp/people/12689

2.広報制作物等

● うえだ子どもシネマクラブ monthly lineup　2021 年 9 月～2022 年 3 月　計 7

3.報告書等

● うえだ子どもシネマクラブ 2020 年度報告書

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

●うえだ子どもシネマクラブ/公開シンポジウム　「映画館未来をつくる学びの場」

日程：2022 年 2 月 13 日（日）
時間：13 時半～16 時半
会場：上田映劇上田市中央 2-12-30
参加者：98 名

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　☑整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）